

会議名	第2回千郷地域協議会		公開
日時	平成30年6月6日(水) 午後7時00分～午後7時46分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 古本 喜之、今泉 隆男、竹下 松太郎、老平 悦朗、物部 恭喜 鈴木 勝吉、山本 松宏、中尾 知久、岩瀬 功、大木 英男、 村田 憲治、市川 博三、西妻 正好、鶴井 良久、丸山 正雄 西野 雄次、近藤 武、宮原 麻衣子、森野 真智子、岡山 薫 長瀬 三平、御宿 三男、田嶋 正吾、中野 克俊、玉井 悦子 鈴木 ゆみ子、鈴木 誠、老平 千昌、杉下 尚由、仲井 敬太郎		
	(事務局) 企画部自治振興課：西村課長、中村主査 千郷自治振興事務所：鈴木所長、宮本主査		
欠席者	(委員) なし	傍聴者	4名
配布資料	次第、資料1地域活動交付金審査会当日の流れ、平成30年度千郷地域活動交付金事業申請一覧、資料2審査会の取決め事項、資料3審査会会場レイアウト、資料4千郷地域自治区地域活動交付金審査基準、採点票(記載例)、資料5地域活動事業における評価判断の目安、資料6千審査除外者一覧表		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会</p> <p>会長(山本松宏氏)より開会にあたり、本日の出席者数が定数に達している旨の説明とこれに伴い本協議会が成立することの報告を行った。</p> <p>会長あいさつ</p> <p>会長が挨拶を行った後、次第に従い2報告事項に入る。</p> <p>2 報告事項</p> <p>事務局より「地域活動交付金の審査方法について」資料1から資料6を活用し報告を行った。</p> <p>(報告事項についての質疑・意見等特になし。)</p> <p>3 議事</p> <p>議事に先立ち、会議録署名委員を会長より指名。</p> <p>順番により本来であれば「竹下松太郎」委員の順番となるが、現時点で出席されていないため、今回は次の順番である「老平悦朗」委員と「物部恭喜」委員の2名を指名し議事に入った。</p> <p>(1) 第3回千郷地域協議会の一部非公開について</p> <p>事務局より、一部非公開の内容及び、非公開にすべき理由について説明。</p> <p>(一部非公開の内容)</p> <p>公開審査終了後に予定している「審議」</p>

(非公開にすべき理由)

率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあり、また、不当に市民の間に混乱を生じさせる恐れがあるため。

また、申請事業毎に審議することとし、その際申請団体の「構成員」又は「居住地」の理由により「審査しないとした方」は「審査しないとした事業」を審議する場合において審議会場より退席をお願いする旨を説明した。

以上の説明終了後、会長より委員に対し質疑、意見等を求めたが、特に意見・質問・異議等の発声も無かったことから、採決により「(1) 第3回千郷地域協議会の一部非公開について」は議案のとおり「一部非公開」とすることとして全会一致により承認された。

(2) 地域活動交付金事業2次募集について

事務局より、本年度の交付金募集期間4月2日から5月31日までの2ヶ月間をもって満了したこと、さらに今回の募集期間中に11件の申請があり受理し、申請額合計が千郷地域自治区予算枠6,243,000円に対し2,441,000円であり、審査においてこれら団体の申請が仮にすべて採択となった場合でも予算執行可能枠として3,802,000円が活用可能な状況にある旨の説明を行った。

また、2次募集を実施する、しないの判断材料として「募集期間中の相談状況」、「本年度からは各戸配布を実施し広く周知を図り実施した事」、「他地域に比べ本地域は相談期間も含め十分な募集期間を設けており、申請にあたっての検討期間は十分であると考えられる事」、「地域活動交付金事業も6年目となり、それぞれ団体が事業趣旨を理解、また、見直しがなされ申請件数が減少してきたのではないかとこの事」、「千郷地域の課題解決や活性化に向けた取組であるかどうか重要であり、予算枠がまだ執行可能であるとか、資金が残っているという判断ではない事」、「現在相談を受けている案件はない事」を踏まえ慎重にご判断していただきたい旨の説明、また併せて2次募集を実施することとなれば、当然協議会の開催数も増え委員の皆さんにはその都度出席いただく必要が生じ、これに伴う報償費支払額についても嵩むこととなる旨を説明した。

<主な質問・意見>

(委員)

年度当初から本交付金事業の事前相談や申請受付開始に伴う回覧案内があったが、千郷地域全体の大きな課題解決に向けた自治区予算の事業執行前に地域活動交付金事業の第2次募集を実施するのは違和感を感じる。実際に申請件数が減少した要因として上げられるのは、今までの申請団体が交付金を活用せずとも自立し活動ができる状態となったことや、団体として考える課題が解消したのではないか。予算執行枠の上限に達していないという理由だけであれば、第2次募集はしないほうが良いと思うのと同時に今後は自治区予算の充実を検討するように考えてはどうか。

(事務局)

本年度地域計画の策定を目指しているため、自治区予算の充実という事では、この計画に位置づけされた優先順位の高い課題解決に向け次年度の自治区予算に反映出来ればと考えているため、また協議会の場で議題として上程させていただく。

(委員)

第2次募集を実施するとすれば当然協議会の開催が増え委員の負担も大きくなる。また、それだけではなく活動実施期間が短くなることによってあわてて事業実施や完了を行わないといけないう事態が生じ申請内容も問題があるものが提出される恐れもあるとともに、本来の事業成果が上げられない危険性も伴う。さらに新城市全体を考えれば千

郷地域には他の地域に比べ予算執行枠が多く設定されており、1団体当たりの交付上限額も優遇されているにも関わらず申請件数が減ったということは、ある程度申請案件が出尽くしたとみて考えても良いのではないかと。

(会長)

他地域協議会の状況はどうなっているか。

(事務局)

新城地区では本年度第2次募集を実施しているところはない。鳳来地区ではひとつの地域協議会で本年度第2次募集を実施する。

(委員)

千郷地域では地域活動交付金事業の執行可能予算額に対し本年度の申請額が4割程度となっている。他地域はどの程度なのか様子を伺いたい。

(事務局)

それぞれ地域自治区ごとに残執行予算枠については違いがありますが、例として新城地域は予算枠約360万円に対し140万円程度枠に余裕があり、東郷地域は約500万円に対し120万円程度枠に余裕があります。また、舟着地域及び八名地域については概ね配当予算額上限に申請額が達しています。このことから、申請額が配当予算額に対し5割に満たない地域は新城地域では千郷地域のみである。また、鳳来地区、作手地区も同様に、配当予算額に対し5割未満の申請に終わっている地域はありません。

(委員)

千郷地域のみ5割にも満たない申請額であったことは、他地域と比べ制度周知のアナウンスが徹底されていなかったのか、今後は情報発信の見直しが必要であると感じる。

(事務局)

千郷地域では相談期間も含め申請受付期間が3ヶ月間という期間を設定しており、他地区に比べれば長く余裕を持って申請できる体制は構築されている。しかしながら制度周知の方法については今一度検討の必要があるので、今後協議会及び事務局で次年度に向け検討していくこととしたい。

(委員)

事務局の説明では17件の申請相談があり、そのうち11件が実際に申請してきたということである。しかしながらすべての申請が採択されても配当予算額に達していないため、第2次募集があることを前提に審査会を開催してしまうと、安易に予算の範囲内であるためすべての申請を採択にしても良いと考えてしまう懸念もある。このため、審査に緊張感を与えるため、さらには第1次募集の受付期間に間に合わせた団体の労力を尊重し今回は第2次募集は実施しない方向で良いのではないかと。ただし申請に対し活動交付金事業の壁が高いと感じる団体も少なからずあると感じる。先ほど委員の方からも意見あったが、申請が出尽くしたかどうかについては、本当にそうであるかどうか検証など必要とも感じる。また、地域計画がされれば今後地域活動交付金事業を活用し様々な団体がそれぞれの課題解決に向けた活動が活発になることを期待する。

(委員)

今後の事であるが、交付金活用の推進を図るのであれば誘い水として過去にどのような団体がどういった活動をするため申請してきたか。さらにこれからは地域計画の中でどのような活動を期待しているかなど、地域住民に対し具体的な取組事例や事業(案)などが出来れば活発な活動交付金事業の施行実施に繋がると感じる。

(委員)

申請をしたいがどのような手続きをして良いか正直わからない団体もあるのではな

いか。先ほど意見あったように、よりどのような活動に対し交付金が交付されるのか、次年度以降の課題ではあるが募集や回覧等のアナウンスの際はもう少し親切に周知すれば申請に広がりを見せるのではないか。

(委員)

今回11件の申請については十分検討され5月末日の申請受付期日までに提出されたものと考えられることから、申請されなかったあとのものについては緊急性や交付金事業の趣旨にあわないと団体が判断し提出されなかったと思う。さらに今後新たな申請案件が生じた場合については次年度の募集期間にお願いすることとしてよろしいのではないか。また、地域活動交付金事業に少し思うところは、各行政区ごと拠点整備と称し備品整備などに活用している感じが見受けられるが、もっと千郷地域全体を考えた活動、課題解決に対する取組をする団体を応援する交付金として活用すべきではないかと感じる。

以上のほか、特に意見・質問等も無く、採決により2次募集することに賛成1名、反対28名の結果となり「(2) 地域活動交付金事業2次募集については、2次募集は実施しないこととして決定した。

4 その他

(1) 第3回千郷地域協議会の日程について

平成30年6月24日(日) 13:00

次回の協議会は地域活動交付金審査会としての位置づけとして開催。

(2) その他

①平成30年度の自治区予算で予算措置されているものの早期着手。

②本年度も例年同様「地域とこどものふれあい事業」について千郷地域子育て連絡協議会に業務委託。(予定:7/28(土)・29(日)千郷小学校にてプレーパークの開催予定)

上記(1)から(2)についてそれぞれ事務局より報告・説明等を行った。

5 閉会

閉会后、休憩を挟み「地域活動交付金事業審査会勉強会」を実施。